



平成 29 年 10 月 31 日

各 位

アイスタディ株式会社
代表取締役社長 小山田 佳裕
(証券コード:2345)東証第二部
東京都品川区上大崎二丁目 25 番 2 号
(お問い合わせ先)執行役員管理本部長 内山 富士子
電話 03-5773-5735

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向を踏まえ、平成 29 年 1 月 31 日に公表した平成 29 年 12 月期（平成 29 年 1 月 1 日～平成 29 年 12 月 31 日）の業績予想を下記の通り修正いたしますのでお知らせいたします。

記

1. 平成 29 年 12 月期業績予想数値の修正

平成 29 年 12 月期(平成 29 年 1 月 1 日～平成 29 年 12 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 (A)	640	30	27	27	20.70
今 回 修 正 予 想 (B)	750	40	28	23	11.84
増 減 額 (B - A)	109	9	1	△3	
増 減 率 (%)	17.1	30.2	3.8	△14.5	
(ご参考)前期実績					
(平成 28 年 12 月期)	395	△12	△16	△16	△12.58
28 年 1 月 1 日～28 年 12 月 31 日	536	△18	△23	△19	△14.38

(注) 当社は、平成28年6月17日開催の定時株主総会で、平成28年度より決算期を3月31日から12月31日に変更することを決議いたしました。従いまして、決算期変更の経過期間となる平成28年12月期の実績については、平成28年4月1日～平成28年12月31日)の実績数値を記載しております。また、ご参考実績として当期に対応する前年同一期間である平成28年1月1日から平成28年12月31日)を記載しております。

2. 修正の理由

売上高につきましては、6月から開始した研修サービス事業の「ビデオ収録・配信サービス」の売上高が、第3四半期において好調に推移し、第4四半期においても同様に推移する見通しであること、4月より開始した法人向けビデオソリューション「Qumu」の新規受注数が発売直後から直近半年で倍増し、今後のストック型売上の安定的売上基盤の強化が進んでいること、9月末に法人向け学習管理システム

「iStudy LMS」の大型案件獲得があったこと等により、当初予想を上回る見通しであります。営業利益及び経常利益につきましても、売上高増加により当初予想を上回る見込みであります。組織体制強化に向けた人材採用費及び当社の認知度向上のための販売促進等の翌期以降を見据えた積極的投資費用を織り込んだ見通しとなっております。

また、本日別途開示しております「営業外費用の計上に関するお知らせ」の通り、営業外費用も織り込んでおります。

当期純利益につきましては、先般の増資等に伴う資本金の増加及び上記の上方修正の影響により法人税等の税金が増加する見通しであることから当初計画を下回る見通しであります。

以上

本資料に記載されている現在の計画・見通しなどのうち、既に確定した事実でないものは将来に関する見通しであり、これらは発表日現在に入手可能な各種データに基づいて作成されたものであります。従って、実際の業績は様々な不確定要素が内在しており、上記の見通しとは大きく異なる結果となり得る場合もありますので、ご承知おきください。